

こんにちは。 ゆいAブロックにて勤務しております中村です。

今回は視覚支援ツールのご紹介第3弾として、実際に活用出来ている物を何点か挙げます。

在籍される方々は地域で生活されることを想定しトレーニング中ですが、作業活動や身辺自立を目的とした練習ばかりといったことはなく（もちろん、そのようなトレーニングも経験中です）、楽しみ、生きがいといった余暇的活動をもって生活されています。内容は人によって異なりますが、皆さん余暇の時間を楽しみに日々生活しておられるようです。

以下、その際に活用している視覚支援ツールです。

### ① Iさんの余暇～自身で選んでジュースを買う。

施設内に自販機があり、Iさんはその場所でジュースを購入することを楽しみにされています。またご本人がお好きな物を選んでいきます。ご自分で選ぶ場面で、ジュースの種類が沢山あると迷う、選択した物がイメージしていたジュースと違った（よく商品のパッケージングも変わります）などの状況が考えられます。そのため、予め選択肢をご本人の選択可能な数に限定し、また十分理解されている写真によりイメージするという目的のため、このツールを用いています。



選択する場所が一番落ち着いて過ごされている居室です。事前にこの「チョイスボード」の中からひとつを選び、支援者に手渡します。その後自販機の場所へ行き、選択したジュースの写真と実際の商品を見比べジュースを購入します。

### ② Mさんの余暇～お絵かき。

Mさんは絵を描くことがお好きな方です。過去に「あらかるアート」にも出展経験があります。サイズの違う紙、色鉛筆、ボールペン、おりがみ、セロハンテープなど、沢山の種類のグッズを使用し作成します。沢山ありますので、正しく支援者に伝えられない場合もあります。そのため、このツールを用いて正しい要求を支援者に伝えています。



本人が自分の欲しい物の書かれた文字カードを選択し、職員に対し見せます。

職員から欲しい物を受け取ります。正しく要求を伝えることが出来て叶うため、伝えられず困る経験が無くなりました。



以上、一部をご紹介させて頂きました。関心を持って頂けたら幸いです。